

保護者の皆様へ

ご家庭で

令和3年度

全国学力・学習状況調査の結果から

4つのことに 取り組んでみませんか

詳しくは中面で

- 1 寝る時間や宿題をする時間などをお子さん自身が決め、実行できるように話し合しましょう。



- 2 ゲームをする時間やスマートフォン等を使うときのルールを、お子さんと一緒に考えましょう。

- 3 宿題の答え合わせをするとき、答えだけでなく、理由も聞いてみましょう。



- 4 お子さんがニュースを読む機会をつくりましょう。

全国学力・学習状況調査における児童・生徒質問紙調査の分析結果から、平均正答率との相関関係が強く見られる項目についてまとめました。

お子さんに基本的な生活習慣を身に付け、学習習慣を確立するなどのために、できるところから、4つのことに取り組んでみませんか。

令和3年12月



①ほっとするね 緑の府中

府中市教育委員会

1 寝る時間や宿題をする時間などをお子さん自身が決め、実行できるように話し合しましょう。

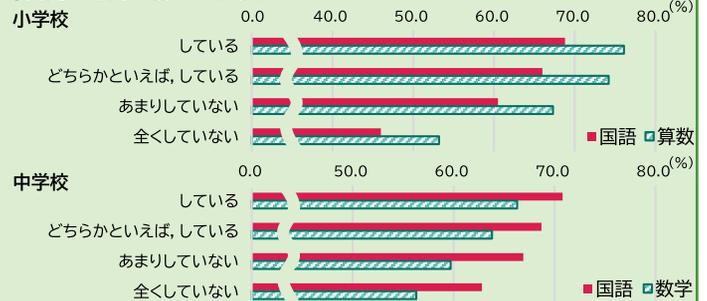
- ▶ 「〇時になったら宿題を始める。」 「〇時までには寝る。」 など、簡単な時間の決め方でも構いません。お子さん自身が決め、実行できるように話し合しましょう。
- ▶ 一日の中にまったく余暇がないのは、大人もそうであるように、苦しいことです。テレビを見たりゲームをしたりするなどの余暇については、時間の使い方を計画する中で、保護者の方とお子さんと一緒に、どのくらいであればよいかを考え、最後は「自ら決めたルール」との意識がもてるようにしましょう。



こんなデータがあります

規則正しい就寝を「全くしていない」と回答している児童・生徒の正答率は低く、特に小学校においては顕著に低いことが分かりました。

毎日同じ時間に寝ていますか。



出典：令和3年度全国学力・学習状況調査（府中市の結果に基づく）

2 ゲームをする時間やスマートフォン等を使うときのルールを、お子さんと一緒に考えましょう。

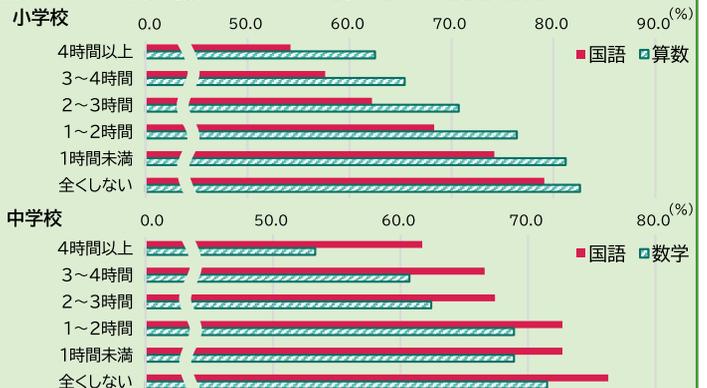
- ▶ ゲームやスマートフォンなどを使う時間を決めるときに、それらを使う際のルールについても決めておくとういでしょう。例えば「ゲームはリビングでする。」 「食事の時はスマホを充電器に戻す。」 など、守れているかどうかを、誰でも確認しやすいルールにするとよいでしょう。
- ▶ ルールを決めたら、守れているかをときどき確認し、あまり守れていないときは「どうすれば守れるか。」や「ルールに無理がないか。」をお子さんと一緒に考えてみましょう。



こんなデータがあります

1日当たりのゲームをする時間について、小学校で1時間、中学校で2時間を境に、正答率に大きな差が見られました。

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますが



出典：令和3年度全国学力・学習状況調査（府中市の結果に基づく）

3 宿題の答え合わせをするとき、 答えだけでなく、理由も聞いてみましょう。

- ▶ どうしても正解・不正解にばかり意識が行きがちになりますが、「この問題は難しそうに思ったけれどできていてすごいね。どうしてできたのか、やり方を教えて。」とお子さんをほめつつ、理由や考え方についても聞いてみてください。
- ▶ 間違えた問題があったときも、「どのように考えるのかな。どうすればできるか一緒に考えよう。」と励まし、やり方を一緒に考えるようにしつつ、お子さん自身に間違えた原因を気付かせるようにするとよいでしょう。



こんなデータがあります

学習の振り返りができている児童・生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



出典：令和3年度全国学力・学習状況調査（府中市の結果に基づく）

4 お子さんがニュースを読む機会をつくりましょう。

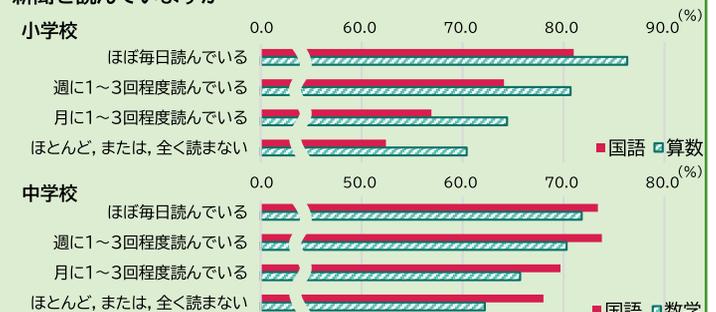
- ▶ ニュースに触れることで、ある程度まとまった量の文章を読み、いつ・どこで・誰が・何をして・どうなった・なぜそうなったのかといった、事からの要点を把握し、物事を論理的に考える力が身に付きます。
- ▶ まずはお子さんの興味・関心の高いニュースから始め、徐々に様々な分野のニュースにも触れるようにしましょう。



こんなデータがあります

週1回以上新聞を読んでいる児童・生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

新聞を読んでいますか



出典：令和3年度全国学力・学習状況調査（府中市の結果に基づく）



家庭学習に取り組む習慣作りを目指しましょう。

ご家庭で、お子さんへの励ましの声掛けをお願いします。

各学校では、家庭学習に取り組む習慣を身に付けるように、一日の学習時間の目安を示すなど、家庭学習に取り組むよう指導を行っています。

お子さんが学校から帰ってきたあと、宿題や教科等の予習・復習に進んで取り組む習慣を身に付けさせるためには、ご家庭での声掛けや励ましが大切です。



ご家庭で**4つの取組**に、できるところから取り組んでいただくことが、基本的な生活習慣の定着や、家庭での学習習慣の確立につながります。

家庭学習に「eライブラリアドバンス」をご活用ください。

学校で出された宿題に取り組むほかに、府中市では児童・生徒が一人一人の学習状況に応じて取り組むことができる、オンラインデジタル教材「eライブラリアドバンス」を導入しています。

学校で使用している一人1台タブレット端末からはもちろん、自宅のパソコンやスマートフォンなどからもアクセスできます。



子供のタブレット端末の使い方が心配です。

使い方で心配な点がありましたら、学校へご相談ください。

各学校では、タブレット端末のよりよい使い方や、正しく使うためのルールを指導しています。

長期休業中などタブレット端末をご家庭に持ち帰ってきたときに、不適切な使い方をしているのではないかなど、心配な点がありましたら、学校へご相談ください。保護者の方と一緒に、よりよい使い方ができるように指導を行ってまいります。

情報モラルについて、家庭で使用できる教材もあります。

東京都教育委員会では、いじめについての相談や、SNSに関するトラブルについて考えるための教材を公開しています。ご家庭でもご活用いただくことができます。

<https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/index.html>

